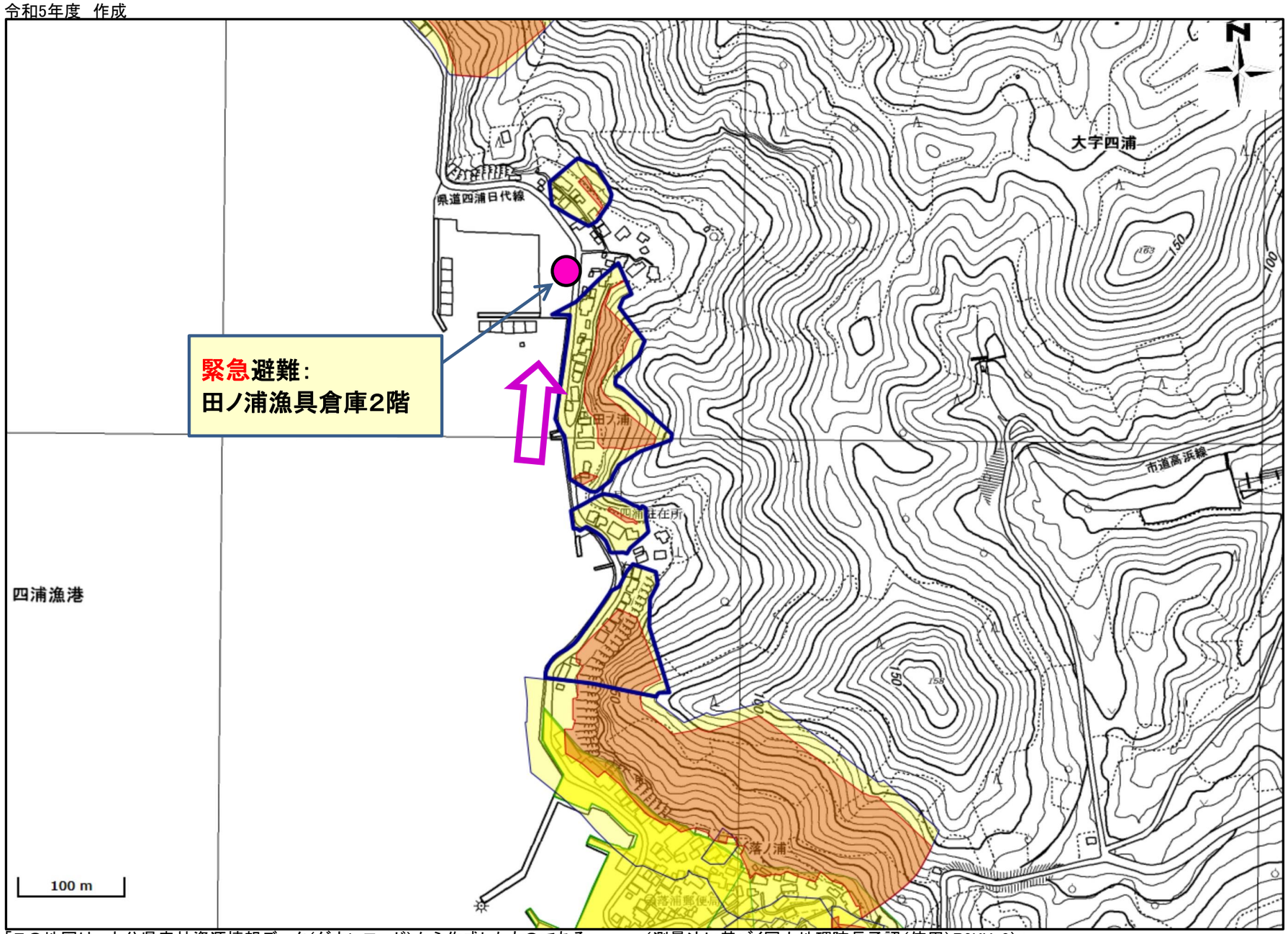
津久見市 四浦三区
（四浦　田ノ浦）

土砂災害ハザードマップ

問い合わせ先：
津久見市 総務課 **電話 0972-82-4115**
ホームページ（http://www.city.tsukumi.oita.jp）

I-1-0916_2, I-1-0916_1, I-1-0917_2, I-1-0917_1

令和5年度　作成



位置図（広域）

項　目	記号
土砂災害警戒区域（土石流）	
土砂災害警戒区域（急傾斜）	
土砂災害警戒区域（地すべり）	
土砂災害特別警戒区域	
避難場所	
緊急避難	
危険が想定される区域	
避難方向	
注意事項	
避難場所の説明	

「この地図は、大分県森林資源情報データ（ダウンロード）から作成したものである。　（測量法に基づく国土地理院長承認（使用）R2KUs3）」

○黄色でぬりつぶされた範囲（土砂災害警戒区域）は、「土砂災害が発生した場合、住民の生命又は身体に危害が生じるおそれのある区域」です。
○赤色で囲まれた範囲（土砂災害特別警戒区域）は、「土砂災害が発生した場合、建築物に損壊が生じ、住民の生命又は身体に著しい危害が生じるおそれのある区域」です。
・土砂災害警戒区域等にお住まいの方は、大雨のときには警戒避難が必要となりますので、注意してください。
・また、土砂災害警戒区域以外の箇所でも土砂災害の発生する可能性がありますので、自分の住んでいる家の周辺の斜面や渓流、避難場所などをよく確認しましょう。

土砂災害に備えて

大雨の時など避難の際に必要となりますので、家族全員がわかる場所に貼っておきましょう。

日頃からの確認

①

雨が強くなってきたら

②

前兆現象を見たら

③

避難のときは

④⑤

①土砂災害警戒区域や避難場所・避難経路等を確認しておきましょう！

②テレビやラジオ、インターネット等で気象情報を確認しましょう。

③直ちに市役所に連絡しましょう！

土砂災害の種類	前兆現象
がけ崩れ	 ○がけに割れ目が見える。 ○がけから水がわき出ている。 ○がけから小石がぱらぱらと落ちてくる。

④避難情報が出たら、内容を確認して適切な避難行動を取りましょう！ ※右上「避難情報」参照

⑤避難の際はこんなことに気をつけましょう！

・斜面・河川から離れた場所へ避難しましょう。
・避難場所へ避難する際は、土砂災害警戒区域等や浸水想定区域を避けた避難経路を選択しましょう。

避難情報

○【事前避難】
災害の発生を確認したら、警戒レベルが高くなる前に親戚・知人宅や宿泊施設等への事前の避難をお勧めします。
※事前避難の際は、自主防災会や近隣の方に行き先をお知らせください。

○【警戒レベル3】高齢者等避難が出たら
避難の際に時間を要する高齢者などの要配慮者や、その支援者は危険な場所から避難してください。要配慮者等以外の人も必要に応じて普段の行動の見合わせ、避難の準備等を行い、危険を感じたら自主的に避難してください。

○【警戒レベル4】避難指示が出たら
計画された避難所等へ避難してください。避難所等への避難が困難な場合は周囲の建物より高く堅固な建物（鉄筋コンクリート等）の2階以上（斜面と反対側の部屋）に避難するなど、危険な場所から離れた場所へ避難してください。

前兆現象発見!!

↓

避難

緊急避難

避難場所等

通報

通報先

津久見市役所　総務課
電話：0972－82－4115

津久見市役所　土木管理課
電話：0972－82－4116

津久見市消防署
電話：0972－82－5211（119）

津久見幹部交番
電話：0972－82－2131（110）

臼杵土木事務所
電話：0972－63－4136

～雨の強さと災害の発生状況～

1時間雨量	人が受けるイメージ	発生状況
10～20ミリ	ザーザー降る	長く続くときは注意が必要。
20～30ミリ	どしゃ降り	側溝や小さな川の溢水、小規模のがけ崩れへの警戒が必要。
30～50ミリ	バケツをひっくり返したように降る	山崩れ、がけ崩れが起きやすくなり、危険区域では避難の準備が必要。
50～80ミリ	滝のように降る	土石流が起こりやすい。多くの災害が発生する。
80ミリ以上	息苦しくなるような圧迫感がある。恐怖を感じる	雨による大規模な災害が発生するおそれが強く、厳重な警戒が必要。

四浦三区

四浦　田ノ浦